



バ
ズ
ク
ト

比
皆
殺
し
の

手にはAK-47
肩にはバズーカ
邪魔する奴は頭を吹っ飛ばす
俺たちは血に飢えているんだ
殺しには目がないぜ

63rd
Berlin International Film Festival
Panorama Department Official Selection
2013

Sundance Film Festival
Official Selection
2013

DocuMentary
International Association
Best Music Award
2013

メキシコ麻薬戦争の光と闇

Parts & Labors presents in association with Ocean Size Pictures and K5 International A Film by Shaul Schwarz "Narco Cultura"
Cinematography by Shaul Schwarz, Original Music by Jerome Turner, Editors Brian Chang, Jay Arthur Sternberg, Associate Producers Juan Bertran, Lauren Haber
Executive Producers Fred Krimm, Rick Warren, Producers Lars Knudsen, Jay Van Hoy, Todd Nagopian, Directed by Shaul Schwarz ©2013 by Narco Cultura LLC
監督・撮影：シャウル・シュワルツ 製作：ジェイ・ヴァン・ホーイ ラース・クヌードセン トッド・ハゴピアン 編集：ブライアン・チャン ジェイ・アーサー・スターレンバーグ
音楽：ジェレミー・ターナー 2013 アメリカ・メキシコ 103分 カラー 英語・スペイン語 16:9 5.1ch 原題：Narco Cultura
配給：ダゲレオ出版 イメージフォーラム・フィルム・シリーズ 総代理：イスラエル大使館 ©2013 by Narco Cultura, LLC



“世界で一番危険な街” シウダー・ファレスを舞台に
メキシコ麻薬戦争の最前線に密着した戦慄のドキュメンタリー!!



2000年代後半から現在に至るまで、12万人の犠牲者を生んだと言われる
メキシコの麻薬戦争。それは麻薬組織間だけでなく、軍や警察、また一般人をも巻き込み、
 まさに“**戦国時代**”と言える様相を呈している。



国境の街シウダー・フアレスの警察官リチは、年間3,000件という、膨大な数の殺人事件の捜査に日々追われている。現場で証拠集めをしても、多くの事件はそのまま放置される。下手に深く首を突っ込むと自身の命が危険なのだ。しかしリチは、生まれ育った自分の街を守りたいと、家族の反対を押し切って仕事を続ける。

ロサンゼルス歌手エドガーは、メキシコの麻薬王たちの武勇伝を「ナルコ・コリド」と呼ばれる歌にして、北・中米の若者から熱狂的な人気を集めている。レコード売り上げはうなぎ上り、麻薬ボスからのチップも懐に入る。「俺たちは、次のヒップホップだ!」と息巻く彼らの勢いは、とどまるところを知らない。二人の男の物語を中心に、狂気の世界の全貌が描かれる。メキシコ麻薬戦争という、想像を絶する暴力に満ちた世界を、ロバート・キャバ賞受賞の戦場フォト・ジャーナリスト、シャウル・シュワルツが伶俐に描き出す、傑作ドキュメンタリー!

メキシコ麻薬戦争 | 主要カルテル支配地図

- シナロア・カルテル
 - バシフィコ・スル・カルテル
 - セタス
 - テンプル騎士団
 - ゴルフォ・カルテル
 - フアレス・カルテル
- ※2014年2月末時点

メキシコの麻薬問題とアメリカ合衆国

メキシコから密輸された麻薬は、殆どすべてが米国内で消費される。WHO(世界保健機構)の調査によると、米国では15歳以上の42%の人が何らかの麻薬を使用したことがあると答え、メキシコではそれがたったの5.5%である。麻薬中毒者は圧倒的に米国内に多い。メキシコの麻薬密輸は、米国の存在があるからこそ存在している。メキシコの麻薬密輸は1994年の北米自由貿易協定(NAFTA)発効以降、急速に成長した。

観ていて頭がクラクラした。
 暴力と死が溢れるディストピアのような街。
 平和で退屈な街でディストピアに憧れ歌う人々。
 現実が虚構になり虚構が現実になる。
 「世界」の縮図がここにある。

—— **想田和弘** [映画作家]

このドキュメンタリーに撮られた人たちは美しく、
 可笑しく、欠陥だらけで、絶望に満ち、
 知的で、勘違いしている…。静かで危険な傑作!
 —— **スティーヴン・ブーン** [RogerEbert.com]

最重要作品!!

この狂った世界から目をそらさずにいられない。
 —— **マイケル・オサリバン** [ワシントン・ポスト紙]

ギャングスタ・ラップよりもはるかにリアルでバイオレントな音楽、ナルコ・コリドの恐るべき実態!
 のどかで陽気なメキシコ歌謡の歌詞が
 「片手にマシンガン、肩にはバズーカ、奴らの生首はねてやる……」
 曲と歌詞にギャップありすぎだよ!

—— **町山智浩** [映画評論家]

皆殺しのバラッド
メキシコ麻薬戦争の光と闇

警告

非常に暴力的な内容を含むため、15歳未満の方のご入場をお断りさせていただきます

監督・撮影: シャウル・シュワルツ 製作: ジェイ・ヴァン・ホーイ ラース・クヌドセン トッド・ハコビアン 編集: プライアン・チャン ジェイ・アール・スターレンバーク
 音楽: ジェレミー・ターナー 2013 アメリカ・メキシコ 103分 カラー 英語・スペイン語 16:9 5.1ch 原題: Narco Cultura
 配給: タケレオ出版 イメージフォーラム・フィルム・シリーズ 後援: イスラエル大使館 ©2013 by Narco Cultura, LLC www.imageforum.co.jp/narco

2014年 **3月**ほか全国順次ロードショー
特別鑑賞券1,500円(税込)発売中
 窓口にて特別鑑賞券お買い求めのお客さま先着50名に
 “死の女神”サンタ・ムエルテのお守りをプレゼント! (提供: 雑貨屋FANDANGO)

[シアター]
イメージフォーラム
 03(5766)0114
<http://www.imageforum.co.jp>

自由席・整理券制・定員入替制 | 渋谷駅より徒歩8分 | 宮益坂上より、次の信号スター・バックスコービー右手入る